

2027年度入試以降の中学入試問題について

鶴見大学附属中学校

建学の精神である「大覚円成 報恩行持 ～感謝を忘れず真人となる～」に基づき、生徒が努力の成果を実感し、次の学びへの意欲を高められ、自らの成長を多くの人に感謝することができる入試問題にします。

- ・とくに国語・算数・理科・社会において、問題の難易度を見直します
- ・より基礎力を重視し、一定の学力のある受験生を入学後に成長させます
- ・解答時間に余裕を持つことができ、じっくり考えることができる分量にします

国語

漢字 ※過去問より

刻限（こくげん） 茨（いばら） 看過（かんか） 弁舌（べんぜつ）



小学生が普段使用する、また、入試問題に出題されやすいものにします

選択肢 ※進学クラス入試

長めの選択肢問題を少なくし、受験生が時間に余裕を持って確実に答えを出すことができるようにします

算数

計算問題（大問1・5題）

- ・整数の足し算引き算
- ・整数の四則問題
- ・分数の足し算引き算
- ・小数分数の混合問題
- ・かっこのついた四則計算（空欄を埋める問題は大問2へ）

一行問題（大問2）

- ・過去問から正答率の高かった問題形式のものを多く出題します

理科・社会

問題量を例年の8割程度とし、受験生が時間に余裕を持って確実に答えを出すことができるようにします

以上